

■平重盛 武將。平清盛の嫡男。平氏軍政を一人で支えた知恵者であったが、早世した。

たいらのしげもり

・ ・ ・ ・ ・ 1138＝ 生。平清盛の嫡男。母は右近將監高階基章の女。

・ ・ ・ ・ ・ 1147＝ 9歳：

頼長内覧・ ・ 1151＝13歳：従五位下，
平氏の隆盛とともに累進し，

頼長内覧停止1155＝17歳：中務少輔となる。

保元の乱・ ・ 1156＝18歳：*父清盛に従って保元の乱に勝利を収め，

藤原基衡没・ 1157＝19歳：従五位上，中務権大輔，正五位下，左衛門佐と昇進し，

1158＝20歳：遠江守を兼任した。

平治の乱・ ・ 1159＝21歳：平治の乱では二条天皇を六波羅へ移したあと大内裏を攻撃するなど，源義朝・藤原信頼を破るのに大いに活躍した。その勲功賞として伊予守に遷任している。

・ ・ ・ ・ ・ 1160＝22歳：従四位下，左馬頭，従四位上，内蔵頭と進み，

・ ・ ・ ・ ・ 1162＝24歳：正四位下，内蔵頭を辞したあと右兵衛督となり，

・ ・ ・ ・ ・ 1163＝25歳：従三位に叙せられた。

・ ・ ・ ・ ・ 1164＝26歳：正三位，

・ ・ ・ ・ ・ 1165＝27歳：*参議に列し，

源頼政内昇殿1166＝28歳：左兵衛督に転じて権中納言となり，ついで左兵衛督から右衛門督になり春宮大夫を兼ね，

清盛太政大臣1167＝29歳：従二位になったあと，*父清盛が太政大臣従一位に任叙すると同時に権大納言に昇進。

厳島神社・ ・ 1168＝30歳：病のため官を辞すが，

後白河出家・ 1169＝31歳：正二位となり，

・ ・ ・ ・ ・ 1170＝32歳：権大納言に復官。重盛の次男資盛が道で摂政基房の舎人と行きあい恥辱を加えられたことに端を発する。基房はただちに下手人を処罰して謝罪したが，重盛はこれを許さず，参内途中の基房を襲わせて報復したという。武門である重盛にはこのような恥辱に耐えられなかったのであろう。(殿下乗合事件)

平徳子入内・ 1171＝33歳：再び権大納言に復官。

・ ・ ・ ・ ・ 1172＝34歳：重盛の家人である伊賀国住人の某が春日社神人を殺害するという事件が起きたが，これは，重盛が家人をかばって処罰させなかったため，興福寺の衆徒が処断を要求して蜂起するという事態にまで発展したものであり，事あるときにはあくまで従者を保護するという武士団首長の立場から発したものといえよう。

・ ・ ・ ・ ・ 1174＝36歳：右近衛大将を兼ねる。

法然浄土宗始1175＝37歳：大納言となり，

鹿ヶ谷事件・ 1177＝37歳：*ついに内大臣まで進んだが，鹿ヶ谷事件が発覚，妻の兄弟である藤原成親・師光(西光)が平氏討滅の首謀者として逮捕，処罰されるという事態になり，彼らの救援に尽力したらしいが，そのかいなく2人とも斬罪に処せられた。この事件を機に重盛は一門のなかでも微妙な立場に立たざるをえなくなったようで，平氏の専制化が進み後白河院との対立が深刻化するなかで，

治承のデータ 1179＝41歳：病弱のため出家し，父に先立って，没した。